愛の献血

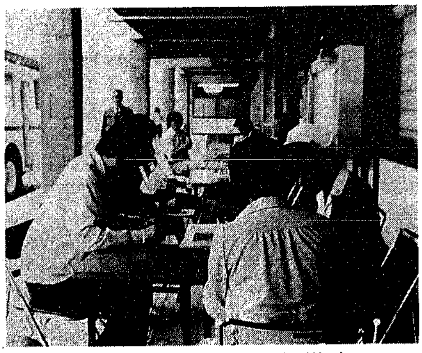
55年度は二五、〇六七本！

～今後も理解とご協力を～

昭和五十五年度の新潟市の献血実績がまとまりました。それによると、「愛の献血」数は二万五千六十七本。多くの市民の暖かいご協力により前年度を大幅に上回る、貴重な血液を確保することができました。本当にありがとうございました。

新潟市は年々人口も増え、また、市内に大学病院やガンセンター、市民病院などの大病院をかかえていることから、血液確保が重要な課題となっています。このため市では、"市民の生命は市民お互いの献血で守り合おう"を理念に全力で運動を展開してきました。そして、引き続き今年度も、必要な血液確保のため、二万七千人の市民の協力を目標にこの運動を積極的に進めてゆきます。できるだけ多くの市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

血液は人工的につくることができず、病気や不時の災害のときにどうしても必要な輸血用血液は、人間の血液で補う以外に方法がありません。従って、献血は『お互いの生命を守り合うためのシステム』といえます。



「愛の献血」受け付け風景（市役所前で）

献血には効用も

献血はだれでもできる十分間の奉仕です。しかも、献血者自身にとって大きな効用もあります。献血すれば、検査サービスがあり、献血された血液について生化学的な検査が行われますし、比重不足の人には貧血検査が実施されるなど、健康管理に役立ちます。献血できるということは、あなたの健康の証しです。

なお、献血は、県赤十字血液センター（関屋下川原町二）で祝休日を除く毎日午前九時から午後四時（土曜は正午）までと、献血車「ゆうあい号」で行っています。

詳しくは、市衛生課（☎28―一〇〇〇）か県赤十字血液センター（☎31―三一二五）へお問い合わせください。

延べ100kmを調査

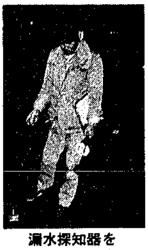
―水道の漏水防止作業始まる―

水道局では、水道管や給水装置からの漏水防止を昭和五十二年度から毎年区域別に計画的に実施しています。今年度も五月から延長約百㌔㍍にわたって漏水防止作業を開始しました。

水道管からの漏水は、多額の費用をかけてきれいにした貴重な「水」をムダにします。そればかりでなく、皆さんの家庭の水の出が悪くなったり、水質が汚染されることも考えられます。また、地下の漏水によって路面が落ちこみ、交通事故などを招く危険性もあります。

この作業は、ヘッドホン式の漏水探知器を使って、地上に表われない地下の漏水を、一つひとつ耳で探すものです。ですから、交通量が少くなり、騒音もなくなる深夜から明け方にかけて行われます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

皆さんも漏水を見つけたら、水道局（☎66―九三一一）か公認水道工事店へご連絡ください。



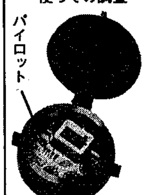
漏水探知器を使っての調査

あなたもできます 家庭の漏水点検

まず、家中のじゃ口を全部しめます。（池などに流している水もお忘れなく！）

次に、メーターボックスを開いて、文字盤を見てください。写真のパイロットは、止ったままですか？少しでも回転していれば、メーターとじゃ口の間のどこかで"漏水"しています。使わなくてもそれだけの水が流れているのですから、その分よけいに料金を支払っていることになります。ぜひ、お調べください。

（漏水がありましたら、公認水道工事店に修理を依頼してください）



パイロット

「かかった医療費をお知らせします」

被保険者のみなさんに国保制度の理解を深めていただくとともに、健康に対する意識を高めるため、みなさんがお使いになった医療費の額等をお知らせしています。

お知らせしている内容は、①診療年月②受診者名③入院、通院、歯科、薬局の別④入院、通院の日数⑤医療費の額―で、医療機関から新潟市に請求のあった一カ月分を世帯ごとにとりまとめて、地域別に年二回世帯主あて「親展」で郵送します。（毎月二十七日に発送。五月は石山・南浜・中野小屋地区の世帯に通知します）

なお、記載内容は、個人の秘密に属する内容も含まれていますので、慎重な取り扱いをお願いします。

通知内容の照会に対しては、通知した記載事項のみに限りお答えします。傷病名および薬剤名等診療内容の照会は、医師と患者との信頼関係を損なうことになりかねないこと、守秘義務に反することから一切応じていません。被保険者以外の方からの照会も、被保険者の秘密保護の観点から応じないことになっています。

地域別通知月

地域別	通知月
関屋、沼垂、松浜	3月、9月
中央、濁川、両川	4月、10月
石山、南浜、中野小屋	5月、11月
坂井輪、赤塚、大形	6月、12月
鳥屋野、曽野木、内野	7月、(57年)1月
山の下、大江山、入船	8月、(57年)2月

「未納の保険料は早めに納付を」

五十五年度の国民健康保険料が、未納になっていませんか。保険料を滞納されている方は、五月末日までに最寄りの銀行、各地区事務所、連絡所―などへ納めてください。（今までに差し上げている納付書、督促状、催告状で納めることができます）

事情があって払えない方は、印鑑を持って市の国民健康保険課へおいでください。事情をお聞きしたうえで、分割納入等の相談に応じています。

期間内に滞納をなくし、強制執行などの不愉快な思いをお互いになくしましょう。

お済みですか、犬の登録・狂犬病予防注射

保健所では、四月中、各地区に会場を設け、犬の登録および狂犬病予防注射を実施しましたが、あなたの愛犬はお済みでしょうか。

犬を飼う場合は毎年の登録と年二回の狂犬病予防注射が必要です。まだお済みでない方は最寄りの保健所または開業獣医師にご相談ください。

犬の飼い方には十分な注意を！

最近、道路上や公園などで犬のフンの不始末がよくみられます。愛犬を散歩させる場合は、小さなスコップとビニール袋を用意するなど、他人に迷惑がかからないようにしましょう。

また、犬を放し飼いにしたり、つなぎ方が悪いため、かみつかれるなどの被害も多く出ています。放し飼いにした場合、県の動物保護管理条例で処罰（一万円以下の罰金または科料）されることになりますので、放し飼いは絶対にやめましょう。

"自分の犬は大丈夫"などといわず、もう一度犬の飼い方を考えてみましょう。

冷凍食品はマイナス十五度以下で保存

魚介類やシュウマイ、コロッケなどたくさんの種類の冷凍食品が売られています。冷凍食品の保存は、食品衛生法ではマイナス十五度となっています。

買うとき 容器に入っているので、中身を見て品質の判断をすることはできません。表示をよく見て買いましょう。冷凍ショーケースの横にロードラインという線があり、品物はその線以下に並べることになっています。なかには山積み販売している店がありますが、これでは品質が劣化し、ときには解凍してしまい、内容物が微生物で劣化する原因にもなります。十分に冷凍されたものを買いましょう。

保存上の注意 マイナス十五度以下の温度で冷凍食品は理論的には比較的長く保存できますが、家庭の冷凍庫では一～三カ月の保存にとどめましょう。また冷気が食品に十分伝わるよう注意し、一ぱいに詰め込まないようにしましょう。

ホームフリージング 調理済みの食品では比較的うまくいきますが、生の肉や魚などでは、よい品質の冷凍は難しいとされています。

1歳半児検診

対象 54年11月生まれ
受付時間 午後1時～2時
持参品 母子手帳

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
6・11	山の下、桃山、東山の下、下山、大形
6・18	万代、南万代、長嶺、沼垂、曽野木、東曽野木、笹口
6・25	竹尾、木戸、牡丹山、酒屋、割野

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
6・16	中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大渕、大形（岡山地区のみ）

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

月日	対象校区
6・4	上所、上山、女池、鳥屋野

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
6・12	小針、浜浦、白山、鏡渕、大畑、豊照、湊
6・26	青山、有明台、関屋、礎、新潟、入舟、栄、東青山

〈西地区保健センター会場〉

月日	対象校区
6・16	内野、木山、笠木、小瀬、赤塚、西内野

〈坂井輪地区保健センター会場〉

月日	対象校区
6・2	坂井輪、新通、五十嵐、真砂、坂井東

婚前学級

期日 6月4日と6月11日
会場 中央公民館4階講座室
対象 56年6～8月までの挙式予定の男女60人
日程および内容

1回目 6月4日	2回目 6月11日
受け付け 午後5時半～6時 映画「選ばれた道」 講演「家庭の機能と教育」……新潟女子短大・岸井勇雄氏 受胎調節個人指導	受け付け 午後5時半～6時 各種血液検査・検査結果通知、個人指導 講演「健全な結婚生活のために」 「先天異常児を生まないために」……新潟南病院・布川修氏 「家族計画について」 受胎調節個人指導

検査料 梅毒検査…無料、血液型検査…720円、貧血検査…120円、風しん抗体価検査…720円
申し込み 電話で西保健所（☎66―5171）へ

育児学級

日時 5月27日午後1時半～
会場 木戸公民館
対象 木戸、牡丹山、竹尾校区在住で56年2・3月生まれの第一子をお持ちのお母さん
持参品 母子手帳
問い合わせ 東保健所（☎41―4111）へ

妊婦相談

持参品 妊娠届出書、健康保険証、印かん、本人名儀の銀行の預金通帳（国保加入者は不要）

〈東保健所会場〉
日時 6月8・15・22・29日午後1時～2時半

〈北地区保健センター会場〉
日時 6月16日午後1時～2時

〈石山地区保健センター会場〉
日時 6月24日午後1時～2時

〈鳥屋野地区保健センター会場〉
日時 6月1日午後1時～2時

離乳食講習会

持参品 母子手帳
対象 生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちの方（ただし、北地区会場は生後4～6カ月の赤ちゃんをお持ちの方）

〈東保健所会場〉
日時 5月27日午後1時～3時半

〈北地区保健センター会場〉
日時 5月28日午後1時半～3時半
申し込み 電話で北地区保健センター（☎59―2721）へ

〈西保健所会場〉
日時 5月28日午前10時～午後零時半（受付時間は午前9時半～10時まで）

安産教室

（2回で1コース）

対象 56年9～10月分娩予定の初産婦各30人（先着順）
内容 1回目…映画「妊産婦体操」、妊娠による身体の変化について、グループディスカッションほか 2回目…映画「生命創造」、お産についての知識・リハーサル、家族計画についてほか
持参品 母子手帳、体操のできる服装

〈東保健所会場〉
日時 6月1日午前9時半～11時半
申し込み 電話で東保健所（☎41―4111）へ

〈石山地区保健センター会場〉
日時 6月17日午後1時半～3時半
申し込み 電話で石山地区保健センター（☎86―4450）へ
※いずれも2回目は来所時に予約

ママへの準備教室

日時 6月5・19日午後1時半～3時半
会場 東保健所
対象 56年10～11月分娩予定の初産婦各20人
内容 赤ちゃんの衣類の選び方、おむつの作り方、おふろの入れ方（実習）
持参品 母子手帳、エプロン、タオル
申し込み 都合のよい日を選んで電話で東保健所（☎41―4111）へ